



# 2024年12月期 第2四半期(中間期)決算短信(日本基準)(連結)

2024年8月9日

上場会社名 株式会社 アイフィスジャパン  
コード番号 7833 URL <https://www.ifis.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 大澤 弘毅

問合せ先責任者 (役職名) 経営管理グループ ディレクター (氏名) 河野 純平

TEL 03-6824-6440

半期報告書提出予定日 2024年8月13日

配当支払開始予定日

決算補足説明資料作成の有無 : 無

決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

## 1. 2024年12月期第2四半期(中間期)の連結業績(2024年1月1日~2024年6月30日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年中間期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年12月期中間期	2,771	4.4	372	12.2	374	12.4	248	11.8
2023年12月期中間期	2,900	4.9	424	2.3	427	3.7	281	5.1

(注) 包括利益 2024年12月期中間期 256百万円 ( 10.0%) 2023年12月期中間期 285百万円 ( 6.7%)

	1株当たり中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり中間純利益
	円 銭	円 銭
2024年12月期中間期	25.75	
2023年12月期中間期	29.11	

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年12月期中間期	6,368	5,498	86.3
2023年12月期	6,191	5,419	87.5

(参考) 自己資本 2024年12月期中間期 5,498百万円 2023年12月期 5,419百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2023年12月期	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年12月期		0.00		18.50	18.50
2024年12月期(予想)				19.50	19.50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2024年12月期の連結業績予想(2024年1月1日~2024年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,700	2.6	720	3.0	720	2.4	465	3.6	48.26

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 : 無

新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2024年12月期中間期	10,242,000 株	2023年12月期	10,242,000 株
期末自己株式数	2024年12月期中間期	607,305 株	2023年12月期	607,305 株
期中平均株式数 (中間期)	2024年12月期中間期	9,634,695 株	2023年12月期中間期	9,659,695 株

第2四半期 (中間期) 決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P3「1. 経営成績等の概況 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(決算説明会内容の入手方法)

当社は、2024年8月15日 (木) にアナリスト向け説明会を開催する予定です。この説明会の動画については、開催後速やかに当社ウェブサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当中間期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当中間期の財政状態の概況 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 中間連結貸借対照表 .....	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書 .....	5
中間連結損益計算書	
中間連結会計期間 .....	5
中間連結包括利益計算書	
中間連結会計期間 .....	6
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書 .....	7
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(セグメント情報等の注記) .....	8

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当中間期の経営成績の概況

当中間連結会計期間における我が国経済は、雇用・所得環境が改善するなか、社会経済活動の正常化が進み、景気は緩やかに回復しております。

一方で、世界経済では欧米における高い金利水準の継続に伴う影響、中国経済の先行き懸念やウクライナ情勢の長期化、国内では日銀がマイナス金利政策の解除を決定するなど金融市場の環境は大きく変動していることに加え、物価上昇や円安傾向が継続しており、依然として不透明な状況が続いております。

また、当社事業と関連性が高い証券市場においては、新NISA制度の開始等を背景に、日経平均株価は2月下旬にバブル期以来となる史上最高値を更新し、その後も高値で推移しており2024年6月末では39,000円台となっております。また、投資信託市場における公募投資信託の純資産総額についても、前年度から引き続き増加傾向が継続しております。

このような状況の中、当中間連結会計期間の売上高は2,771百万円(前年同期比4.4%減)となりました。利益面につきましては、売上高減少の影響により、営業利益は372百万円(前年同期比12.2%減)となりました。また、経常利益は374百万円(前年同期比12.4%減)、親会社株主に帰属する中間純利益は248百万円(前年同期比11.8%減)となりました。

セグメントの経営成績は以下のとおりであります。

#### <投資情報事業>

機関投資家、証券会社等に対して展開している各種サービスは、証券調査レポート作成システムに関する開発案件が想定より伸びず、またASPソリューションサービスにおいて、セキュリティ強化に伴う体制強化を実施したため、前年同期比で減収減益となりました。

その結果、売上高は724百万円(前年同期比0.2%減)、営業利益は296百万円(前年同期比4.2%減)となりました。

#### <ドキュメントソリューション事業>

生命保険関連の印刷・物流サービスは、大口顧客の一括発注が分割発注に変更されたため、当中間期の前年同期比では減収減益となりました。但し、同案件は通期ベースでは前年度と同水準を想定しております。

また、配送サービスを事業展開している連結子会社の株式会社東京ロジプロでは、大量案件、在庫発送案件の対応力強化を目的として、舎人ロジスティクスセンター(東京都足立区舎人)を設立いたしました。これに伴う設立費用を当期に計上したことにより、利益面で減益となりました。

その結果、売上高は914百万円(前年同期比15.8%減)、営業利益は78百万円(前年同期比50.9%減)となりました。

#### <ファンドディスクロージャー事業>

投資信託市場の純資産総額の増加傾向は継続しております。また、従前から印刷部数は減少傾向にありましたが、2024年スタートの新NISA制度や株価上昇等が追い風となり、当社サービスの金融ドキュメントオーダーマネジメント(通称FDOS)を通じて受注した印刷物や販促資料等の印刷部数が増加したこと、またWEB/動画のデジタル需要の取り込み強化により、前年同期比で増収増益となりました。

その結果、売上高は742百万円(前年同期比15.5%増)、営業利益は156百万円(前年同期比36.7%増)となりました。

#### <ITソリューション事業>

事業会社向けの受託開発を行っているビジネスソリューションの受注は、証券系ソリューションと就業、給与系ソリューションにおいて堅実な成長が続いているものの、前年度で追い風となったインボイス制度や改正電子帳簿保存法に対するIT投資の反動減により、前年同期比で減収減益となりました。

その結果、売上高は391百万円(前年同期比12.3%減)、営業利益は33百万円(前年同期比37.4%減)となりました。

(2) 当中間期の財政状態の概況

① 資産、負債及び純資産の状況

当中間連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べ177百万円増加し、6,368百万円となりました。

流動資産合計は129百万円増加し、5,725百万円となりました。主な要因は、現金及び預金が146百万円増加した一方で、受取手形、売掛金及び契約資産が29百万円減少したことによるものであります。

固定資産合計は47百万円増加し、643百万円となりました。主な要因は、有形固定資産が27百万円増加し、投資その他の資産が14百万円増加したことによるものであります。

当中間連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末に比べ98百万円増加し、870百万円となりました。

流動負債は78百万円増加し、732百万円となりました。主な要因は、未払法人税等が52百万円増加したことによるものであります。

固定負債は20百万円増加し、137百万円となりました。

当中間連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末に比べ78百万円増加し、5,498百万円となりました。主な要因は、親会社株主に帰属する中間純利益248百万円の計上による増加と、剰余金の配当178百万円による減少によるものであります。

② キャッシュ・フローの状況

当中間連結会計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べ145百万円増加し、5,216百万円となりました。当中間連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況とこれらの要因は、次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果、取得した資金は402百万円(前年同期は396百万円の取得)となりました。収入の主な内訳は、税金等調整前中間純利益374百万円、売上債権の減少額62百万円、減価償却費35百万円、未収又は未払消費税等の増加額21百万円であります。また、支出の主な内訳は、法人税等の支払額75百万円、仕入債務の減少額24百万円であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果、支出した資金は78百万円(前年同期は127百万円の支出)となりました。支出の主な内訳は、有形固定資産の取得による支出35百万円、無形固定資産の取得による支出35百万円であります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果、支出した資金は178百万円(前年同期は178百万円の支出)となりました。支出の主な内訳は、配当金の支払額178百万円であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年2月13日公表の2024年12月期通期の連結業績予想に変更はありません。今後、状況の進展や事業動向を踏まえ、業績予想の修正が必要となった場合は速やかに開示いたします。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年12月31日)	当中間連結会計期間 (2024年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	5,088,365	5,234,779
受取手形、売掛金及び契約資産	457,238	427,546
その他	50,351	63,122
流動資産合計	5,595,954	5,725,448
固定資産		
有形固定資産	118,088	145,616
無形固定資産		
のれん	95,636	78,247
ソフトウェア	117,855	112,726
ソフトウェア仮勘定	4,460	32,922
その他	1,469	1,469
無形固定資産合計	219,421	225,366
投資その他の資産		
その他	258,429	272,833
貸倒引当金	-	△353
投資その他の資産合計	258,429	272,480
固定資産合計	595,939	643,463
資産合計	6,191,893	6,368,911
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	200,141	180,075
未払法人税等	83,431	135,683
賞与引当金	25,937	17,062
その他	345,256	400,028
流動負債合計	654,767	732,850
固定負債		
退職給付に係る負債	29,029	30,960
その他	88,243	106,952
固定負債合計	117,272	137,912
負債合計	772,039	870,763
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	382,510	382,510
資本剰余金	438,310	438,310
利益剰余金	4,669,127	4,738,985
自己株式	△92,600	△92,600
株主資本合計	5,397,346	5,467,204
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	68	289
為替換算調整勘定	22,438	30,653
その他の包括利益累計額合計	22,507	30,943
純資産合計	5,419,854	5,498,148
負債純資産合計	6,191,893	6,368,911

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書  
(中間連結損益計算書)  
(中間連結会計期間)

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年6月30日)
売上高	2,900,571	2,771,901
売上原価	1,675,238	1,608,089
売上総利益	1,225,333	1,163,811
販売費及び一般管理費	800,647	791,048
営業利益	424,685	372,763
営業外収益		
受取利息	18	18
受取配当金	157	163
持分法による投資利益	656	123
為替差益	1,815	1,016
確定拠出年金返還金	-	361
その他	177	197
営業外収益合計	2,824	1,880
営業外費用		
貸倒引当金繰入額	-	353
その他	33	1
営業外費用合計	33	355
経常利益	427,475	374,289
特別損失		
固定資産除却損	0	0
特別損失合計	0	0
税金等調整前中間純利益	427,475	374,289
法人税、住民税及び事業税	126,851	125,706
法人税等調整額	19,341	482
法人税等合計	146,193	126,189
中間純利益	281,282	248,100
親会社株主に帰属する中間純利益	281,282	248,100

(中間連結包括利益計算書)  
(中間連結会計期間)

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年6月30日)
中間純利益	281,282	248,100
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	144	220
持分法適用会社に対する持分相当額	3,614	8,214
その他の包括利益合計	3,758	8,435
中間包括利益	285,040	256,535
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	285,040	256,535

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年6月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前中間純利益	427,475	374,289
減価償却費	37,447	35,572
のれん償却額	17,388	17,388
賞与引当金の増減額(△は減少)	△1,567	△8,875
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	43	1,930
貸倒引当金の増減額(△は減少)	-	353
受取利息及び受取配当金	△175	△182
持分法による投資損益(△は益)	△656	△123
売上債権の増減額(△は増加)	74,210	62,530
仕入債務の増減額(△は減少)	1,273	△24,044
固定資産除却損	0	0
未払又は未収消費税等の増減額	△6,698	21,256
その他	△1,020	△1,887
小計	547,720	478,208
利息及び配当金の受取額	175	182
法人税等の支払額	△151,586	△75,413
営業活動によるキャッシュ・フロー	396,309	402,976
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△5,291	△35,782
無形固定資産の取得による支出	△17,032	△35,472
投資有価証券の償還による収入	19	16
定期預金の預入による支出	△600	△600
差入保証金の差入による支出	△104,834	△7,081
投資活動によるキャッシュ・フロー	△127,739	△78,920
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
配当金の支払額	△178,704	△178,242
財務活動によるキャッシュ・フロー	△178,704	△178,242
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	89,865	145,814
現金及び現金同等物の期首残高	4,890,801	5,070,748
現金及び現金同等物の中間期末残高	4,980,667	5,216,562

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前中間連結会計期間(自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注) 3	合計	調整額 (注) 1	中間連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	投資情報 事業	ドキュメン トソリューション 事業	ファンド ディスク ロージャー 事業	I Tソリ ューショ ン事業				
売上高								
ドキュメント	—	1,025,598	633,054	—	—	1,658,653	—	1,658,653
WEBサービス	658,266	—	—	—	—	658,266	—	658,266
受託開発	67,783	60,310	9,919	81,290	—	219,303	—	219,303
その他	—	—	—	364,348	—	364,348	—	364,348
外部顧客への売上高	726,049	1,085,908	642,973	445,639	—	2,900,571	—	2,900,571
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,500	6,073	—	31,071	—	38,645	△38,645	—
計	727,549	1,091,982	642,973	476,710	—	2,939,216	△38,645	2,900,571
セグメント利益	309,713	160,414	114,392	53,049	—	637,569	△212,884	424,685

(注) 1. セグメント利益の調整額△212,884千円には、セグメント間取引消去△408千円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△212,475千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、データ化サービス等の事業を含んでおります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当中間連結会計期間(自 2024年1月1日 至 2024年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注) 3	合計	調整額 (注) 1	中間連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	投資情報 事業	ドキュメン トソリューション事業	ファンド ディスク ロージャー 事業	I Tソリ ューショ ン事業				
売上高								
ドキュメント	-	837,161	726,616	-	-	1,563,777	-	1,563,777
WEBサービス	689,672	-	-	-	-	689,672	-	689,672
受託開発	34,780	76,896	15,750	19,738	-	147,165	-	147,165
その他	-	-	-	371,286	-	371,286	-	371,286
外部顧客への売上高	724,452	914,058	742,366	391,024	-	2,771,901	-	2,771,901
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,500	4,538	-	30,022	-	36,061	△36,061	-
計	725,952	918,596	742,366	421,047	-	2,807,962	△36,061	2,771,901
セグメント利益	296,851	78,783	156,367	33,218	-	565,220	△192,457	372,763

(注) 1. セグメント利益の調整額△192,457千円には、セグメント間取引消去△439千円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△192,018千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、データ化サービス等の事業を含んでおります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。